

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第20回)

概要報告

1. 日時 2019年10月15日(火) 14:00~16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学地震研究所	名誉教授	岩崎 貴哉
	東北大学	准教授	岡田 知己
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	名古屋大学	教授	鷺谷 威
	東京大学地震研究所	准教授	酒井 慎一
	東京大学地震研究所	教授	佐藤 比呂志
	防災科学技術研究所	主任研究員	武田 哲也
	東北大学	准教授	中原 恒
	産業技術総合研究所	主任研究員	丸山 正
	横浜市立大学	教授	吉本 和生
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 2019年度上半期の活動報告
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—近地地震の表面波の解析—

4. 委員会の状況

2019年度上半期の活動報告として①地震活動状況等について、②GNSS観測結果等について説明があったのち、観測データを用いた解析等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 2019年度上半期の活動報告

2019年度上半期の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、2019年6月18日の山形県沖の地震及びその余震群の活動傾向等について意見交換が行われた。
- ② GNSS観測結果等について、データ処理の状況、長岡平野周辺の応力場等について説明が行われ、委員会では、余効変動方向とその時間変化等について意見交換が行われた。

(2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討—近地地震の表面波の解析—

長岡平野西縁断層帯周辺を対象領域とし、地震観測網から得られた地震波形記録のスペクトル解析及びアレイ解析を実施し、表面波の伝播特性について検討した結果が紹介された。委員会では、後続波の到来方向等に関して意見交換が行われ、今後の研究進展についても活発な議論が行われた。

以 上